

ルールメイキングプロジェクト+2025 ルールメイキング・ナビ@神拝小学校

～ Go for it 小学生の“やってみたい”の実現へ～

西条・神拝小でWS

丹原高生と交流し学ぶ

対話で課題解決「ルールメイキング」

対話による課題解決のプロセスを学ぶ「ルールメイキング」に取り組む丹原高校の生徒が16日、西条市神拝の神拝小学校でワークショップ(W.S)を開き、チームで話し合いながら協力する大切さを見



丹原高生(左)にアドバイスを受けながら新聞紙でタワーをつくる神拝小児童

童に伝えた。神拝小は対話を重視する授業を実践しており、昨年から丹原高と交流。今回のWSには高校1、2年生28人と

6年生の児童約120人が参加した。児童は5～6人ずつのグループに分かれて新聞紙を使ったタワーを作り高さを競い合っ

た。最初は1人で挑戦し、その後はグループで協力して作業。高校生にアドバイスを受け、どうすればより高くできるかのアイデアを出し合った。丹原高1年の大澤恋春さん(16)は「どうすればいい方向に導けるようにサポートできるかを意識した」と話した。

児童らはWSでの学びを生かし11月の文化祭で防災をテーマにしたイベントブースを自分たちで企画する。6年の村上桜心さん(11)は「高校生に分かりやすく教えてもらった。文化祭で防災の大切さを伝えられるように勉強したい」と意気込んだ。

(清家康尊)

丹高のルールメイキングが大切にしている「対話」で、小学生の「やってみたい」の実現のお手伝いをしました。みんなにとって楽しいイベントを創ってください！